



今月の話題

- 地震工学通年研修
2020-2021 閉講
- 学位記授与式-政策研究大学院大学-
- 閉講式での研修生代表
答辞
- 赤羽国土交通大臣表敬
訪問

地震工学通年研修 2020-2021 閉講

国際地震工学センター 管理室長 山田 高広

昨年10月2日からスタートした地震工学通年研修の閉講式が、9月14日(月)に建築研究所にて執り行われました。

今年は、10カ国15名(バングラディッシュ(2)[1名オンライン]、ブータン(2)、チリ(1)、エルサルバドル(2)、インドネシア(2)、マレーシア(2)、フィリピン(1)、トンガ(1)[オンライン]、東ティモール(1)、ソロモン諸島(1)[オンライン])からの研修生が参加し、研修生代表者が研修修了証と科目履修証を授与され、その後、一人ひとりに研修修了証と科目履修証が授与されました。

この研修期間中、各国から選抜された研修生は、地震学、地震工学、津波防災の3つのコースに分かれ、それぞれの専門性を考慮した講義を受講するとともに、母国で抱える個別の課題に対応するための調査研究をまとめました。

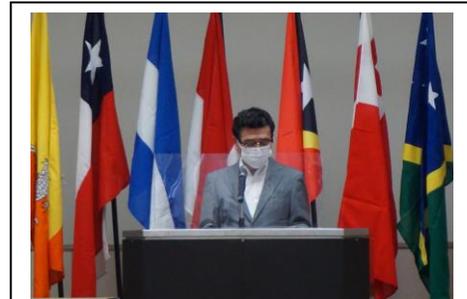
式では、オンラインにより参加された政策研究大学院大学の菅原防災政策プログラムディレクターが、最優秀研究賞3名を、その後小豆畑センター長がIISEE優秀賞3名を発表し、サプライズとしてDMP Dean's Awardの報告がありました。

最後にフィリピンのジョエルさんが研修員答辞を述べました。

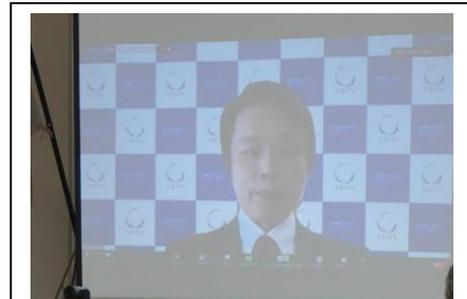
研修で得た知識や人的ネットワークを活かし、母国でのご活躍をお祈りいたします。



JICA筑波国際センター
渡邊 健 所長



建築研究所理事長
緑川 光正



政策研究大学院大学防災政策
プログラムディレクター
菅原賢教授

研修データベース

IISENET(地震防災技術情報ネット)

IISEE-UNESCO レクチャーノート

E ラーニング

シノプシス・データベース(修士論文概要)

Bulletin データベース

地震データベース

2011年3月11日東北地方太平洋沖地震

地震情報

宇津カタログ(世界の地震被害)

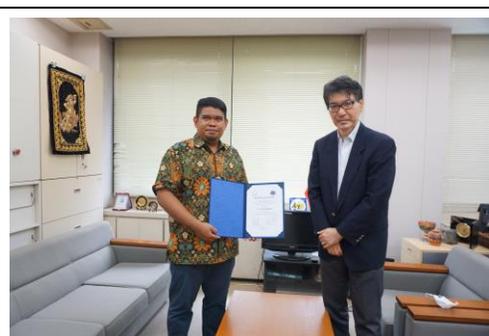
地震カタログ(世界の大地震の震源メカニズム、余震分布等)



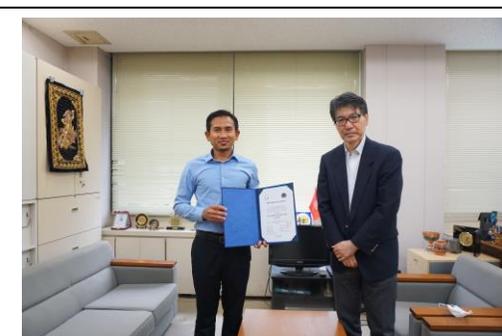
修了証書授与 代表シルヴァさん
(Sコース、東ティモール)



ディプロマ授与 代表のアイダさん
(Eコース、マレーシア)



最優秀研究賞を受賞したロンドさん
(Sコース、インドネシア)



最優秀研究賞を受賞したアシャラルさん
(Eコース、マレーシア)



最優秀研究賞を受賞したヘローニモさん
(Sコース、チリ)



IISEE 優秀賞を受賞したニティアムさん
(Sコース、ブータン)



IISEE 優秀賞を受賞したビダンさん
(Eコース、バングラデシュ)



IISEE 優秀賞を受賞したキアンさん
(Tコース、インドネシア)

論文募集

IISEE Bulletin は、現在地震学、地震工学、津波に関する論文を募集しております。開発途上国に関するものを対象としていますが、それに限らず募集しています。

送って頂いた未発表の論文は、編集委員会と専門家による査読を行います。投稿料は無料です。

是非チャレンジして下さい。



集合写真(研修生全員)



集合写真(Eコース)



集合写真(Sコース)



集合写真(Tコース)

学位記授与式—政策研究大学院大学—

国際地震工学センター 管理室長 山田 高広

地震工学通年研修は、独立行政法人国際協力機構及び政策研究大学院大学との連携により、所定の成績を収めれば、修士(防災政策)号を取得することが可能な研修となっています。

今年も昨年度と同様に新型コロナウイルス感染症対策の関係からオンラインでの学位授与式となりました。

9月15日(水)は、地震工学通年研修に参加した研修生のうち、15名が政策研究大学院大学で行われた学位記授与式にオンラインで出席しました。

地震工学通年研修 2020-2021 コースの実施にあたって、ご協力いただきました関係者の皆様には、心から感謝申し上げます。どうもありがとうございました。



オンラインでの学位授与式

閉講式での研修生代表答辞

オースター・ジョエル(フィリピン) 地震学コース

国際協力機構(JICA)のご支援の下に参加した2020-2021年国際地震工学研修 地震学・地震工学・津波防災コースにて、研修生を代表して答辞を述べさせていただき、大変光栄に思っています。新型コロナウイルスの大流行のため、もう2年近くもの間、それまで当たり前に行っていたことが全くできない状況が続いています。しかし、そんな中であっても何か月もの間勉学に励み、多くの犠牲を払いながら、ようやく努力が実を結びこの日を迎えることができました。



オースター・ジョエル

途中で何度も投げ出したくなったこともありましたが、しかし、コロナ禍でも自らこの研修をやり遂げることを選び、誘惑に打ち勝ったことに大きな喜びを感じています。きっと神様にも私の心が届き、道が開けるようにお力添えくださったのだと感じています。11か月の奨学金を得て研修へ参加できたことは大変恵まれたことである一方、勉学と家族とのバランスをとるのはとても難しいことでした。奨学金プログラムの受給を決める前には既に問題が立ち上がりました。また、様々な事が約束通りに進まず失望感を感じることもありましたが、それでも私は、この国際地震工学センターでの11か月間の研修コースを必ず修了するのだ、という強い決意を持ち続けました。学習面・経済面での不安、気持ちの揺れにおそわれても、



Enjoy Now

途中で何度も投げ出したくなったこともありましたが、しかし、コロナ禍でも自らこの研修をやり遂げることを選び、誘惑に打ち勝ったことに大きな喜びを感じています。きっと神様にも私の心が届き、道が開けるようにお力添えくださったのだと感じています。11か月の奨学金を得て研修へ参加できたことは大変恵まれたことである一方、勉学と家族とのバランスをとるのはとても難しいことでした。奨学金プログラムの受給を決める前には既に問題が立ち上がりました。また、様々な事が約束通りに進まず失望感を感じることもありましたが、それでも私は、この国際地震工学センターでの11か月間の研修コースを必ず修了するのだ、という強い決意を持ち続けました。学習面・経済面での不安、気持ちの揺れにおそわれても、

連絡先

IISEE ニュースレターは、IISEE と卒業生の架け橋を目指しています。

ニュースレターへの報告や記事をお待ちしております。皆様の自国でのご活躍をお知らせ下さい。

また、皆様の同僚やお友達もこのメーリングリストに登録するようにお願い下さい。

iiseenews@kenken.go.jp
<http://iisee.kenken.go.jp>

バックナンバーは下記をご覧ください。

<http://iisee.kenken.go.jp/nldb/>

私は挫けませんでした。レポート作成や試験に備えて幾度となく眠れない夜を過ごしましたが、途中で諦めて今までの日々を無駄にするようなことは絶対にしない、と覚悟の上でした。本奨学金をいただいたことは恵まれていたことでしたが、来日できなかった間は自国からオンラインで参加していたため、データのダウンロードやインターネット環境等で何度も困難に直面しました。しかし、それでも私は諦めませんでした。そして今日、これまでに費やした沢山の時間も、眠れない夜も、早起きも、全てがようやく報われたのです。自分自身にも、同じ時間を過ごした仲間にも言いたい。おめでとう！と。私たちは何か月もの間、普通の生活を取り戻したいと語り続けてきました。よくやった！乾杯！研修を修了した今、私たちは帰国して家族の元に帰るのを心待ちにしています。

クラスメートの皆へ。一緒に過ごした思い出をありがとう。切磋琢磨できる仲間のおかげで研修を修了することができました。しかし、今日が最後ではなく、これからも支え合う仲間でありたいと願っています。

豊富な知識を活かし忍耐強く模索しながらコロナ禍での新しい研修方式を取り入れてくださった全ての講師やスタッフの皆さんに感謝します。

JICA、建築研究所 国際地震工学センター、政策研究大学院大学の皆様へ。本研修の成功は、頂いたご援助と類稀な管理運営のおかげです。心から感謝致します。皆様からは、私達個人へのご支援に留まらず、まさに私達の母国へのご支援をいただいたのだと思います。この取り組みが世界を触発して、学問を志す者は、自分自身の利益のためだけでなく、母国への貢献を念頭に常に全力を尽くすようになることを望んでいます。

研究を指導くださった林田先生へ。私を導いてくださったこと、理解してくださったこと、忍耐強くいてくださったことに感謝しています。何よりも、私を信じてくださり、ありがとうございました。先生が私を触発し、導いてくださったのと同じように、私自身も周りの人々を導いていきたいと思っています。

答辞を終える前に、地震学コースの研修生として次の資料をご覧くださいたく存じます。

1. いつでも、心に置いて物事に取り組むべきこと



2. 何故なら、それが地域社会の安全につながるから



3. そして、いつでも Heart (心) を優先して取り組むことを忘れずに



「成功するためにまずすべきことは、自分の仕事を愛すること」
シスター マリー・ラウレッタ

「些細な事でも大きな愛をもって取り組みなさい」
マザーテレサ

赤羽国土交通大臣表敬訪問

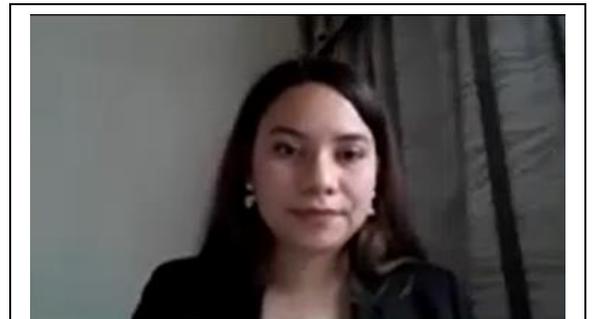
国際地震工学センター 管理室長 山田 高広

9月8日(水)に、通年研修コースの研修生が赤羽国土交通大臣を表敬訪問しました。ただし、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、10カ国15名の研修生全員、WEBによるリモート参加となりました。研修生の国別内訳は、バングラディッシュ(2)、ブータン(2)、チリ(1)、エルサルバドル(2)、インドネシア(2)、マレーシア(2)、フィリピン(1)、トンガ(1)、東ティモール(1)、ソロモン諸島(1)です。大臣からは、阪神・淡路大震災で被災した自らの経験も踏まえつつ、我が国の防災・減災及び復興に係る知見を紹介して頂いたほか、「本研修で学んだことを活かして母国においては世界の防災・減災対策が前進するよう活躍し、今後とも日本との交流の架け橋となっていたきたい」とのコメントを頂きました。



赤羽国土交通大臣

次に、研修生を代表して、エルサルバドルのモニカさんよりお礼の言葉が述べられました。歴史ある本研修プログラムを通じた開発途上国に対する支援と、新型コロナウイルスの世界的感染の影響下にあっても、貴重で忘れられない一年を過ごすことができたことに対しかんしゃの念が示されました。また、本研修で得た知識を活かし、研修生それぞれが母国にて災害リスクを軽減する情熱を持ち続け、さらにはこれにより本研修の素晴らしい功績を証明したいとの決意が述べられました。



モニカさん
(Sコース、エルサルバドル)

最後に、今年の大臣表敬は、初めての「フルリモート表敬」となりました。新型コロナウイルス感染症に負けないという趣旨から、最後に赤羽大臣と研修生全員で、頑張ろうのポーズで記念撮影を行いました。今回実施された赤羽国土交通大臣表敬訪問が、母国の将来を担う研修生の励みになることを期待します。

国土交通省(HP)URL:

https://www.mlit.go.jp/page/kanbo01_hy_008123.html

国土交通省公式 Twitter:

https://twitter.com/MLIT_JAPAN/status/1436148728658739238

建築研究所(HP)URL:

<https://www.kenken.go.jp/japanese/award/20210910.html>

